# 第７次小樽市総合計画の進捗状況及び行政評価の実施結果について

本市の市政運営全般についての指針となる最上位の計画として位置付けている第７次小樽市総合計画では、市政の各分野を『まちづくり６つのテーマ』として「子ども・子育て」「市民福祉」「産業振興」「生活基盤」「環境・景観」「生きがい・文化」に分類するとともに、これらに共通する人口対策として関連付けた「人口減少・少子高齢化への対応」を最重要課題として掲げ、施策の基本的な方向性を示しています。

この度、総合計画の進捗状況を明らかにするため、設定した指標の数値の変動を確認するとともに、令和３年度決算によりテーマごとに要した経費を取りまとめました。

また、指標推移の結果を基に、施策の効果や事業の妥当性についての行政評価を行いました。

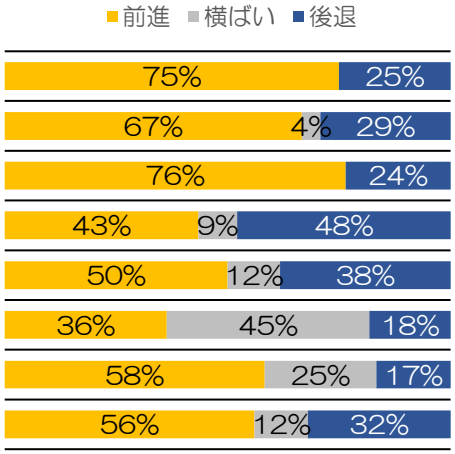
## １　第７次小樽市総合計画の進捗状況

### (1) 各指標における数値の変動状況

「人口減少・少子高齢化への対応」と「まちづくり６つのテーマ」は、それぞれを構成する施策ごとに進捗状況を客観的に把握するための指標が設定されており、この各指標について数値を確認し、前回確認数値からの変動状況をテーマごとに取りまとめました。

※原則として前年度数値と比較、前年度に数値確認できていないものは直近確認数値と比較しています。また、今年度は行っていない本市アンケート調査（隔年実施）によるものなど、前回からの変動状況を比較できない指標数値は含めていません（全191のうち、今回対象は125）。

| 分　　野 | 前 進 | 横ばい | 後 退 | 合 計 |
|---|---|---|---|---|
| 人口減少･少子高齢化への対応 | 3 | 0 | 1 | 4 |
| テーマ１　子ども・子育て | 16 | 1 | 7 | 24 |
| テーマ２　市民福祉 | 13 | 0 | 4 | 17 |
| テーマ３　産業振興 | 10 | 2 | 11 | 23 |
| テーマ４　生活基盤 | 17 | 4 | 13 | 34 |
| テーマ５　環境・景観 | 4 | 5 | 2 | 11 |
| テーマ６　生きがい・文化 | 7 | 3 | 2 | 12 |
| 合　　計 | 70 | 15 | 40 | 125 |



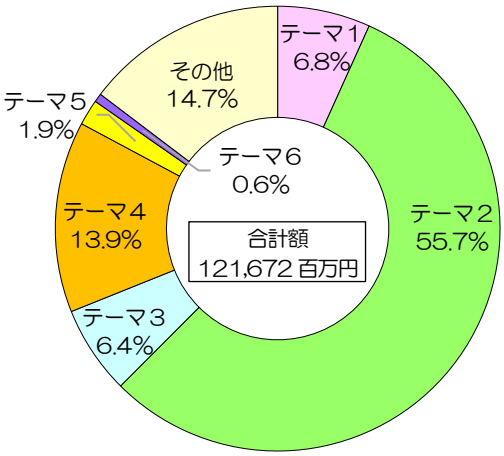

※　数値増加を目標とする指標の場合（数値維持が目標だが増加が望ましいものを含む）は、前回から数値が増加すれば「前進」、減少すれば「後退」とし、数値減少を目標とする指標の場合はその逆としています。

### (2) 政策に要した経費の内訳

令和3年度決算の一般会計及び特別会計の歳出額と企業会計の支出（収益的支出及び資本的支出）額の合計をテーマごとに分類し、まちづくりの推進に要した経費の状況を取りまとめました。

（単位：百万円）

| 分　　野 | 経費全体 | うち企業会計 |
|---|---|---|
| テーマ１　子ども・子育て | 8,217 | |
| テーマ２　市民福祉 | 67,811 | 13,015 |
| テーマ３　産業振興 | 7,826 | |
| テーマ４　生活基盤 | 16,910 | 10,897 |
| テーマ５　環境・景観 | 2,287 | 176 |
| テーマ６　生きがい・文化 | 766 | |
| 上記以外のその他経費　※ | 17,855 | |
| 合　　計 | 121,672 | 24,088 |




※　市債の償還金、人件費のほか、広報関係や町内会館などのコミュニティ施設に係る経費など

## 2　行政評価（施策評価）の実施結果

### (1) 行政評価の概要

本市における現行の行政評価は、施策評価として行っており、総合計画における 32 の施策ごと設定した指標の推移を見ながら、関連する予算事業や取組の進捗状況を確認し、施策全体で改善の必要性や推進するための方向性を示すものです。

今年度の行政評価では、所管部による一次評価の後、一部の施策について有識者会議による一次評価内容の点検を行った上で、市長、副市長等による二次評価を実施しました。

### (2) 評価方法

評価にあたっては、まず、各施策に設定した市民アンケート指標と各指標のぞれぞれについて、目標に向けて順調に推移しているかを機械的に判定しました。具体的には、基準年から目標年までに、基準値から目標値まで平均的に増加（減少）させた場合を標準値とし、当該年度の実績値が標準値に届いていれば「◎」、届いていなければ「△」と判定しています。

その上で、施策ごとに、順調に推移している指標の割合により指標推移を総合的に評価し（Ａ～Ｄで評価）、さらに、各施策を推進するために取り組んでいる予算事業等の今後の方向性について、改善内容等を総合的に評価しています（１～３で評価）。

【指標推移】

| 記号 | 評価内容 |
|---|---|
| A | 順調（◎の割合が 75%以上） |
| B | 概ね順調（50%以上 70%未満） |
| C | あまり順調でない（50%未満） |
| D | 順調でない（０%） |

【改善内容等】

| 記号 | 評価内容 |
|---|---|
| 1 | 主な予算事業等をこのまま継続して推進 |
| 2 | 主な予算事業等を改善しながら推進 |
| 3 | 主な予算事業等の内容を全面的に見直し |

### (3) 有識者会議による一次評価内容の点検

今年度の行政評価では有識者会議を設置し、一般市民の方や学識経験者、公共的団体等から推薦された職員の方、合わせて７名の委員による外部評価を受けました。

この会議では、指標推移の評価がＤ評価であった３施策と、Ｃ評価であった施策のうち会議で選定した３施策の計６施策について、一次評価における指標推移の要因分析や目標達成に向けた今後の事業の展開方向が妥当であるか等の観点から、調書の記載内容の点検が行われました。

### (4) 評価結果

32 施策中、指標推移の評価として、Ａ又はＢ評価とされたものは 18 施策（56%）、Ｃ又はＤ評価とされたものは 14 施策（44%）ありました。

また、今後の方向性として、主な予算事業等をこのまま継続して推進することとされたものは 20 施策（62%）、改善しながら推進することとされたものは 12 施策（38%）ありました（全面的な見直しが必要とされた施策はなし）。

| 改善内容等 ＼ 指標推移 | 1　（このまま継続して推進） | 2　（改善しながら推進） | 計 |
|---|---|---|---|
| A　（順　調） | 1-2 学校教育　2-4 保健衛生　4-4 除排雪<br>6-3 スポーツ･レクリエーション | 5-4 都市景観 | 5 |
| B（概ね順調） | 2-3 障がい者福祉　3-2 水産業　3-6 港湾<br>4-1 上下水道　4-5 市街地整備　4-9 生活安全<br>5-1 環境保全　6-2 文化芸術 | 1-1 子ども･子育て支援<br>2-5 地域医療　4-3 住宅<br>4-7 防災･危機管理　5-3 公園･緑地 | 13 |
| C（あまり順調でない） | 2-2 高齢者福祉　3-3 商業<br>3-4 工業･企業立地※　4-2 道路･河川<br>4-6 交通※　6-4 国際交流 | 2-1 地域福祉※　3-1 農林業<br>3-5 観光　3-7 雇用･労働<br>4-8 消防 | 11 |
| D（順調でない） | 5-2 循環型社会※　6-1 社会教育※ | 2-6 男女共同参画社会※ | 3 |
| 計 | 20 | 12 | 32 |

※　有識者会議の点検対象となった６施策。

# 第７次小樽市総合計画基本計画　各施策指標一覧表

| 施策 | 小施策 | 指標 | 基準値 | | 実績値 | | 目標値 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 前回確認数値 | 今回確認数値 | | |
| 人口減少・少子高齢化への対応 | 01 人口減少への挑戦 | 合計特殊出生率 | 1.12 | H20～29平均 | 1.05<br>（1.05） | 1.08<br>（1.11） | 1.27 | R1～10平均 |
| 人口減少・少子高齢化への対応 | 01 人口減少への挑戦 | 転出超過数 | 825人 | H21～30平均 | 596.5人<br>（457人） | 552.7人<br>（465人） | 535人 | R1～10平均 |
| 人口減少・少子高齢化への対応 | 01 人口減少への挑戦 | 子育てがしやすいと感じている市民の割合<br>（18歳未満の子どもがいる世帯）（№25共通） | 22.0% | R1 | 24.3% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 人口減少・少子高齢化への対応 | 01 人口減少への挑戦 | 雇用保険一般被保険者数（№95共通） | 33,492人 | H30.10 | 32,537人 | 32,028人 | 33,492人 | R10 |
| 人口減少・少子高齢化への対応 | 01 人口減少への挑戦 | 快適な住環境と感じている市民の割合（№117共通） | 44.0% | R1 | 47.1% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 人口減少・少子高齢化への対応 | 01 人口減少への挑戦 | 移住相談窓口を利用した移住人数（№116共通） | 112人 | H21～30合計 | 39人<br>（18人） | 64人<br>（25人） | 146人 | R1～10合計 |
| 人口減少・少子高齢化への対応 | 01 人口減少への挑戦 | 小売業の年間商品販売額（№73共通） | 1,298億円 | H27 | ― | ― | 1,298億円 | R10 |
| 人口減少・少子高齢化への対応 | 01 人口減少への挑戦 | 観光客消費額（№85共通） | 1,255億円 | H25 | ― | ― | 2,300億円 | R10 |
| 人口減少・少子高齢化への対応 | 02 将来人口への適用 | 高齢者が元気に生き生きと暮らしていると感じている市民の割合 | 29.2% | R1 | 33.3% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 人口減少・少子高齢化への対応 | 02 将来人口への適用 | 自分が健康であると感じている市民の割合（№52共通） | 58.5% | R1 | 60.4% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 人口減少・少子高齢化への対応 | 02 将来人口への適用 | 暮らしやすい環境が形成されていると感じている市民の割合<br>（№123共通） | 37.8% | R1 | 37.7% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 人口減少・少子高齢化への対応 | 02 将来人口への適用 | 地域公共交通に対して満足している市民の割合<br>（№128共通） | 34.3% | R1 | 30.2% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 人口減少・少子高齢化への対応 | 02 将来人口への適用 | 適切な行政サービスが提供されていると感じている市民の割合 | 24.5% | R1 | 27.4% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 1-1子ども・子育て支援 | 01 妊娠・出産・子育て支援の充実 | 育児相談延べ件数 | 335件 | H30 | 338件 | 789件 | 600件 | R10 |
| 1-1子ども・子育て支援 | 02 保育サービスの充実 | 各種保育サービスの延べ利用児童数 | 21,080人 | H30 | 19,779人 | 21,174人 | 21,000人 | R10 |
| 1-1子ども・子育て支援 | 03 地域子育て支援の推進 | 地域子育て支援センターの延べ利用世帯数 | 5,502世帯 | H30 | 3,272世帯 | 2,227世帯 | 5,500世帯 | R10 |
| 1-1子ども・子育て支援 | 03 地域子育て支援の推進 | 児童館・児童センターの延べ利用児童数 | 17,287人 | H30 | 9,960人 | 8,579人 | 17,200人 | R10 |
| 1-1子ども・子育て支援 | 03 地域子育て支援の推進 | ファミリーサポートセンターの提供会員登録数 | 140人 | H30 | 125人 | 143人 | 140人 | R10 |
| 1-1子ども・子育て支援 | 03 地域子育て支援の推進 | 地域子育て支援センターや親子の集いの場などの設置箇所数 | 4か所 | H30 | 4か所 | 4か所 | 5か所 | R10 |
| 1-1子ども・子育て支援 | 04 子どもを守る仕組みの充実 | 虐待などの困りごと相談延べ件数 | 208件 | H30 | 191件 | 219件 | 200件 | R10 |
| 1-1子ども・子育て支援 | 05 ひとり親家庭への支援 | ひとり親世帯、生活困窮世帯の児童の学習・生活支援事業参加者数 | 30人 | R1 | 35人 | 48人 | 50人 | R10 |
| 1-1子ども・子育て支援 | 06 地域活動団体への支援とリーダー養成 | リーダー養成研修参加数 | 32人 | H26～30平均 | 14人 | 21人 | 32人 | R10 |
| 1-1子ども・子育て支援 | 07 見守り育てる環境づくり | 20歳未満の青少年1,000人当たりに占める補導、指導された青少年の数 | 10人 | H30 | 2.36人 | 3.14人 | 6人 | R10 |
| 1-1子ども・子育て支援 | 08 子どもの基本的人権の尊重と保護 | 子どもの権利条約について理解している市民の割合 | 26.2% | R1 | 28.4% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 1-1子ども・子育て支援 | 市民アンケート指標 | 子育てがしやすいと感じている市民の割合<br>（18歳未満の子どもがいる世帯）（№3共通） | 22.0% | R1 | 24.3% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 1-2学校教育 | 01 未来を創る力の育成 | 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査等において国語、算数・数学が「好き」「どちらかと言えば好き」と回答した割合（対象は、小学校６年生及び中学校３年生） | 小学校国語69.6% | H30 | 63.6% | 66.3% | 70.0% | R10 |
| | | | 小学校算数68.2% | H30 | 68.9% | 67.1% | 70.0% | R10 |
| | | | 中学校国語51.8% | H30 | 57.8% | 60.7% | 70.0% | R10 |
| | | | 中学校数学50.4% | H30 | 54.1% | 57.5% | 70.0% | R10 |
| 1-2学校教育 | 02 豊かな心の育成 | 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査において「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」という設問で「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合 | 小学校60.4% | H30 | 82.0% | 79.5% | 70.0% | R10 |
| | | | 中学校58.2% | H30 | 76.1% | 79.0% | 70.0% | R10 |
| 1-2学校教育 | 02 豊かな心の育成 | 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査において「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」という設問で「当てはまる」と回答した割合 | 小学校90.9% | H30 | 90.0% | 98.0% | 100.0% | R10 |
| | | | 中学校76.4% | H30 | 81.7% | 96.5% | 100.0% | R10 |
| 1-2学校教育 | 03 健やかな体の育成 | 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計得点<br>（全国を50.0とした場合） | 小学校男子50.4 | H30 | 49.5 | 52.6 | 50.0 | R10 |
| | | | 小学校女子49.4 | H30 | 49.8 | 54.2 | 50.0 | R10 |
| | | | 中学校男子48.4 | H30 | 48.3 | 40.2 | 50.0 | R10 |
| | | | 中学校女子47.0 | H30 | 46.6 | 45.0 | 50.0 | R10 |
| 1-2学校教育 | 04 家庭・地域との連携・協働の推進 | コミュニティ・スクールを導入する学校の割合 | 小・中学校3.3% | H30 | 24.1% | 34.4% | 小・中学校50.0% | R10 |
| 1-2学校教育 | 05 学びと育ちをつなぐ学校づくりの実現 | 中学校区で小中学校９年間の共通の目標を設定し、教育活動を行う学校の割合 | 小・中学校10.0% | H30 | 66.7% | 100.0% | 小・中学校100.0% | R10 |
| 1-2学校教育 | 05 学びと育ちをつなぐ学校づくりの実現 | 公立小中学校施設の耐震化率 | 小・中学校81.3% | H30 | 90.0% | 91.4% | 小・中学校100.0% | R10 |
| 1-2学校教育 | 市民アンケート指標 | 子どもたちに学力・体力・豊かな心が育まれていると感じている市民の割合（18歳未満の子どもがいる世帯） | 23.4% | R1 | 32.7% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 2-1地域福祉 | 01 住民相互の支え合いを目指した地域福祉活動の推進 | ボランティア・市民活動センターの登録団体数 | 125団体 | H30 | 136団体 | 134団体 | 180団体 | R10 |
| 2-1地域福祉 | 01 住民相互の支え合いを目指した地域福祉活動の推進 | 市民後見人登録者数 | 30人 | H30 | 30人 | 21人 | 52人 | R10 |
| 2-1地域福祉 | 02 多様な課題解決に向けて連携する支援体制の構築 | 福祉総合相談室（自立支援グループ）での新規相談受付件数 | 253件 | H30 | 643件 | 476件 | 180件 | R10 |
| 2-1地域福祉 | 03 支援が必要な方が外出しやすい環境づくり | ヘルプマーク配布数 | 270個 | H30 | 364個<br>（148個） | 502個<br>（138個） | 2,700個 | R1～10合計 |
| 2-1地域福祉 | 市民アンケート指標 | 困った時に相談できる人や場所がある市民の割合 | 49.1% | R1 | 50.5% | ― | 基準値より増 | R10 |

| 施策 | 小施策 | 指標 | 基準値 | | 実績値 | | 目標値 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 前回確認数値 | 今回確認数値 | | |
| 2-2高齢者福祉 | 01 健康づくりと介護予防の取組の推進 | 地域版介護予防教室回数 | 584回 | H30 | 253回 | 418回 | 600回 | R10 |
| 2-2高齢者福祉 | 02 地域包括ケアシステムの深化に向けた高齢者を地域で支える仕組みづくりの推進 | 認知症サポーター養成講座回数 | 18回 | H30 | 6回 | 8回 | 50回 | R10 |
| 2-2高齢者福祉 | 03 高齢者の生きがいづくりの推進 | 老壮大学の定員に対する受講生の割合 | 72.5% | H30 | 62.7% | 78.5% | 80.0% | R10 |
| 2-2高齢者福祉 | 市民アンケート指標 | 介護予防事業などの高齢者サービスが充実していると感じている市民の割合（65歳以上の方がいる世帯） | 38.4% | R1 | 36.9% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 2-3障がい者福祉 | 01 自立と社会参加の促進 | 就労支援の利用者数 | 395人 | H30 | 601人 | 676人 | 471人 | R10 |
| 2-3障がい者福祉 | 02 地域生活の支援体制の充実 | 障害福祉サービスの利用者数 | 1,297人 | H30 | 1,295人 | 1,363人 | 1,497人 | R10 |
| 2-3障がい者福祉 | 03 バリアフリー社会の実現 | 手話通訳者・要約筆記者の派遣件数 | 421件 | H30 | 230件 | 333件 | 430件 | R10 |
| 2-3障がい者福祉 | 03 バリアフリー社会の実現 | 手話の講座の開催回数 | 72回 | H30 | 23回 | 54回 | 90回 | R10 |
| 2-3障がい者福祉 | 市民アンケート指標 | 障がいのある人者が暮らしやすいと感じている市民の割合（障がいのある方がいる世帯） | 21.1% | R1 | 21.8% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 2-4保健衛生 | 01 健康づくり施策の推進 | 健康寿命の延伸 | 男性79.08歳 | H27 | ― | ― | 基準値より延伸 | R10 |
| | | | 女性85.14歳 | H27 | ― | ― | 基準値より延伸 | R10 |
| 2-4保健衛生 | 02 健康危機管理体制の整備 | 病原微生物、有害物質等の検査機器の整備更新 | ― | ― | 21台（17台） | 23台（2台） | 37台 | R1～10合計 |
| 2-4保健衛生 | 03 食と生活環境の安全確保 | 食品・環境関連施設監視率 | 100% | H30 | 102% | 74.0% | 食品関連140% | R10 |
| | | | 100% | H30 | 196% | 275.0% | 環境関連160% | R10 |
| 2-4保健衛生 | 04 人と動物が共生できる環境づくり | 飼い主探しサポート（譲渡率） | 72.1% | H27～29平均 | 90.5% | 76.9% | 75.0% | R10 |
| 2-4保健衛生 | 市民アンケート指標 | 自分が健康であると感じている市民の割合（№10共通） | 58.5% | R1 | 60.4% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 2-5地域医療 | 01 良質で安全な医療の提供 | かかりつけ医を持っている市民の割合 | 67.0% | R1 | 62.1% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 2-5地域医療 | 02 救急医療体制の充実 | 急病等の際に対応する救急医療の仕組みに満足している市民の割合 | 39.9% | R1 | 38.9% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 2-5地域医療 | 03 市立病院の経営効率化と役割の明確化 | 経常収支比率 | 94.8% | H30 | 96.7% | 99.7% | 100%以上 | R10 |
| 2-5地域医療 | 市民アンケート指標 | 安心して医療を受けられる環境が整っていると感じている市民の割合 | 38.7% | R1 | 41.9% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 2-6男女共同参画社会 | 01 男女の人権の尊重と男女共同参画の意識づくり | 配偶者暴力防止法の認知度 | 84.5% | H28.7 | ― | 87.2% | 100% | R10 |
| 2-6男女共同参画社会 | 02 あらゆる分野への男女共同参画の推進 | 市の審議会等における女性登用率 | 34.9% | H30.4 | 33.8% | 34.7% | 45% | R10 |
| 2-6男女共同参画社会 | 03 男女が多様な生き方を選択できる環境づくり | 男女が多様な生き方を選択できる環境が整っていると感じている市民の割合 | 21.4% | R1 | 19.4% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 2-6男女共同参画社会 | 市民アンケート指標 | 社会全体で男女平等となっていると感じている市民の割合 | 22.3% | R1 | 18.6% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 3-1農林業 | 01 農業経営基盤の強化 | 耕地面積 | 186ha | H27 | 184ha | 183ha | 186ha | R10 |
| 3-1農林業 | 01 農業経営基盤の強化 | 認定農業者数 | 6件 | R1 | 6件 | 5件 | 20件 | R10 |
| 3-1農林業 | 02 市民に親しまれる地域農業の推進 | 市民体験農園の申込区画数 | 213区画 | H30 | 170区画 | 171区画 | 220区画 | R10 |
| 3-1農林業 | 03 森林整備の推進 | 森林面積 | 16,374ha | H27 | ― | 15,855ha | 16,374ha | R10 |
| 3-1農林業 | 市民アンケート指標 | 小樽の農産物であることを意識して商品を選択する市民の割合 | 36.2% | R1 | 40.4% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 3-2水産業 | 01 つくり育てる漁業・資源管理型漁業の推進 | 放流魚種の漁獲量 | 724t | H30 | 879t | 616t | 800t | R10 |
| 3-2水産業 | 02 漁場環境の保全・漁業基盤の整備 | 小樽沿岸の漁獲量 | 3,853 t | H30 | 4,511t | 3,308t | 3,900 t | R10 |
| 3-2水産業 | 02 漁場環境の保全・漁業基盤の整備 | トド等海獣による漁業被害額 | 61,421千円 | H28～30平均 | 38,920千円 | 24,500千円 | 55,300千円 | R10 |
| 3-2水産業 | 03 地元水産物の付加価値を高める水産加工業の振興と消費拡大の推進 | 小樽水産加工グランプリ出品数 | 12品 | H30 | ― | 12品 | 20品 | R10 |
| 3-2水産業 | 03 地元水産物の付加価値を高める水産加工行の振興と消費拡大の推進 | 小樽のおさかな普及推進委員会ＨＰ閲覧数 | 40,000件 | H30 | 53,250件 | 45,446件 | 50,000件 | R10 |
| 3-2水産業 | 市民アンケート指標 | 小樽の水産物であることを意識して商品を選択する市民の割合 | 49.7% | R1 | 51.4% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 3-3商業 | 01 創業の促進及び経営の安定化 | 商人塾参加人数 | 70人 | H30 | 35人 | 10人 | 70人 | R10 |
| 3-3商業 | 02 買い物環境の魅力向上 | 小売業の年間商品販売額（№7共通） | 1,298億円 | H27 | ― | ― | 1,298億円 | R10 |
| 3-3商業 | 02 買い物環境の魅力向上 | 飲食店売上高 | 133億円 | H27 | ― | ― | 150億円 | R10 |
| 3-3商業 | 03 流通構造の変化に対応した卸売機能の強化 | 卸売業の年間商品販売額 | 1,305億円 | H27 | ― | ― | 1,305億円 | R10 |
| 3-3商業 | 04 商店街・市場の振興 | 中心7商店街の空き店舗率 | 14.0% | H30 | 16.4% | 19.9% | 10.0% | R10 |
| 3-3商業 | 市民アンケート指標 | 買い物環境が充実していると感じている市民の割合 | 44.6% | R1 | 50.6% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 3-4工業・企業立地 | 01 経営基盤の強化と創業の促進 | 関係機関と連携した支援による新規創業者数 | 42件 | H30 | 27件 | 38件 | 45件 | R10 |
| 3-4工業・企業立地 | 02 ネットワークの形成と地場産業の活性化 | 製造業の付加価値額 | 624億円 | H28 | 658億円 | 652億円 | 650億円 | R10 |

| 施策 | 小施策 | 指標 | 基準値 | | 実績値 | | 目標値 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 前回確認数値 | 今回確認数値 | | |
| 3-4工業・企業立地 | 03 地場産品の販路拡大と新たな市場開拓 | 製造業の製造品出荷額等 | 1,704億円 | H28 | 1,751億円 | 1,705億円 | 1,900億円 | R10 |
| 3-4工業・企業立地 | 04 企業誘致活動の強化 | 課税免除による支援を活用した設備投資件数 | 7件 | H30 | 10件<br>（4件） | 19件<br>（9件） | 70件 | R1～10合計 |
| 3-4工業・企業立地 | 市民アンケート指標 | 地場企業に活力があると感じている市民の割合 | 10.7% | R1 | 12.6% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 3-5観光 | 01 小樽の魅力を深める取組 | 小樽市の宿泊客延数 | 957,100人 | H30 | 394,100人 | 476,400人 | 1,300,000人 | R10 |
| 3-5観光 | 01 小樽の魅力を深める取組 | 観光客満足度 | 91.30% | H25 | ― | ― | 95.00% | R10 |
| 3-5観光 | 01 小樽の魅力を深める取組 | 観光客消費額（№8共通） | 1,255億円 | H25 | ― | ― | 2,300億円 | R10 |
| 3-5観光 | 02 小樽の魅力を広げる取組 | 北後志6市町村宿泊客延数 | 1,249,900人 | H30 | 473,600人 | 557,000人 | 1,700,000人 | R10 |
| 3-5観光 | 03 小樽の魅力を共有する取組 | 観光客に伝えたい小樽の良さがあると答えた市民の割合 | 61.1% | R1 | 63.1% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 3-5観光 | 市民アンケート指標 | 観光都市であることに魅力や活力を感じている市民の割合 | 49.4% | R1 | 49.5% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 3-6港湾 | 01 物流の活性化 | 小樽港の年間取扱貨物量 | 1,307万トン | H30 | 1,196万トン | 1,232万トン | 基準値より増 | R10 |
| 3-6港湾 | 02 「みなと観光」拠点の創出 | クルーズ船の道内寄港数における小樽港の割合 | 20.79% | H30 | 0.00% | 0.00% | 30% | R10 |
| 3-6港湾 | 03 安全・安心対策の推進 | 老朽化対策を行う岸壁数の割合 | 33.3% | H30 | 33.3% | 33.3% | 50.0% | R10 |
| 3-6港湾 | 04 石狩湾新港との連携 | 両港のタグボート相互利用等のポートサービス連携により寄港した船舶の隻数 | 89隻 | H30 | 99隻 | 112隻 | 基準値より増 | R10 |
| 3-6港湾 | 市民アンケート指標 | 港に魅力や活力を感じている市民の割合 | 29.6% | R1 | 34.6% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 3-7雇用・労働 | 01 安定した雇用の確保 | 雇用保険一般被保険者数（№4共通） | 33,492人 | H30.10 | 32,537人 | 32,028人 | 33,492人 | R10 |
| 3-7雇用・労働 | 02 多様な人材の就労支援と地元密着の促進 | 新規高卒者の市内就職割合 | 46.2% | H30 | 42.5% | 43.2% | 50.0% | R10 |
| 3-7雇用・労働 | 02 多様な人材の就労支援と地元密着の促進 | シルバー人材センター登録会員数 | 387人 | H30.10 | 373人 | 377人 | 387人 | R10 |
| 3-7雇用・労働 | 03 職業能力の開発・向上 | 市が指定する人材育成セミナーの受講者数 | 80人 | H30 | 70人 | 14人 | 80人 | R10 |
| 3-7雇用・労働 | 04 労働環境の整備 | 適正な労働環境であると感じている市民の割合 | 13.1% | R1 | 14.6% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 3-7雇用・労働 | 市民アンケート指標 | 働きやすいと感じている市民の割合 | 15.0% | R1 | 16.3% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 4-1上下水道 | 01 安全な水の供給と快適で安全・安心な生活環境の創造 | 水質分析機器の整備更新数 | ― | ― | 6基<br>（2基） | 8基<br>（2基） | 25基 | R1～10合計 |
| 4-1上下水道 | 01 安全な水の供給と快適で安全・安心な生活環境の創造 | 事業場排水の水質検査実施箇所数 | ― | ― | 82か所<br>（40か所） | 122か所<br>（40か所） | 400か所 | R1～10合計 |
| 4-1上下水道 | 02 上下水道機能の維持・強化 | 導水・送水・配水管の更新延長 | ― | ― | 6.6km<br>（3.2km） | 10.1㎞<br>（3.5㎞） | 34.3km | R1～10合計 |
| 4-1上下水道 | 02 上下水道機能の維持・強化 | 下水道設備の整備更新数 | ― | ― | 21基<br>（9基） | 30基<br>（9基） | 184基 | R1～10合計 |
| 4-1上下水道 | 03 経営基盤の強化と市民の視点に立った事業経営 | 水道料金、下水道使用料の収納率 | 水道99.3% | H30 | 99.1% | 98.9% | 水道99.3% | R10 |
| | | | 下水道99.3% | H30 | 99.4% | 99.5% | 下水道99.3% | R10 |
| 4-1上下水道 | 04 危機管理対策の充実と広域連携の推進 | 災害対策訓練実施回数 | 4回 | H30 | 8回 | 6回 | 5回 | R10 |
| 4-1上下水道 | 市民アンケート指標 | 上下水道に満足している市民の割合 | 61.4% | R1 | 63.7% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 4-2道路・河川 | 01 道路の整備、維持管理 | 道路改良工事等で側溝や舗装などを新設又は改良する市道の整備延長 | 2km | H28～30平均 | 4.7km<br>（2.46km） | 6.52㎞<br>（1.82㎞） | 20km | R1～10合計 |
| 4-2道路・河川 | 01 道路の整備、維持管理 | 小樽市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、修繕を完了する橋りょう数 | 2橋 | H30 | 6橋 | 9橋 | 37橋 | R6 |
| 4-2道路・河川 | 02 河川の整備、維持管理 | 河川しゅんせつの延長 | 2.5km | H30 | 2.32km | 2.00km | 3.0km | R10 |
| 4-2道路・河川 | 02 河川の整備、維持管理 | 沈砂池のしゅんせつ箇所 | 4か所 | H30 | 4か所 | 3か所 | 4か所 | R6 |
| 4-2道路・河川 | 市民アンケート指標 | 道路の整備や維持管理が適切に行われていると感じている市民の割合 | 35.9% | R1 | 34.2% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 4-3住宅 | 01 安全・安心で快適な住宅の促進 | 住宅エコリフォーム助成制度による助成件数 | 7件 | H30 | 5件 | 12件 | 20件 | R10 |
| 4-3住宅 | 02 市営住宅の整備活用 | 子育て世帯向け市営住宅の供給戸数 | 10戸 | H30 | 12戸 | 12戸 | 30戸 | R10 |
| 4-3住宅 | 03 空家等対策 | 管理不全な空家の解体件数 | 18件 | H30 | 37件<br>（21件） | 54件<br>（17件） | 200件 | R1～10合計 |
| 4-3住宅 | 04 移住促進に向けた情報提供などの充実 | 移住相談窓口を利用した移住人数（№6共通） | 112人 | H21～30合計 | 39人<br>（18人） | 64人<br>（25人） | 146人 | R1～10合計 |
| 4-3住宅 | 市民アンケート指標 | 快適な住環境と感じている市民の割合（№5共通） | 44.0% | R1 | 47.1% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 4-4除排雪 | 01 効率的な雪対策の充実 | 除排雪等に対する「市民の声」件数 | 2,697件 | H21～30平均 | 1,334.0件<br>（1,605件） | 2,107.0件<br>（3,652件） | 2,100件 | R1～10平均 |
| 4-4除排雪 | 02 市民との協働による雪対策の検討 | 砂まきボランティアの登録数 | 153件 | H30 | 172.5件<br>（153件） | 163.0件<br>（144件） | 180件 | R1～10平均 |
| 4-4除排雪 | 03 雪堆積場等の確保 | 雪押場数 | 439か所 | H30 | 521か所 | 510か所 | 530か所 | R10 |
| 4-4除排雪 | 市民アンケート指標 | 冬期間、安全に移動できる道路が確保されていると感じている市民の割合 | 29.3% | R1 | 27.8% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 4-5市街地整備 | 01 中心市街地の整備 | 中心市街地の歩行者通行量（年2回（1回当たり平日・休日の２日間）の調査値の合計） | 25,590人 | H30 | 15,208人 | 13,499人 | 28,100人 | R10 |

| 施策 | 小施策 | 指標 | 基準値 | | 実績値 | | 目標値 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 前回確認数値 | 今回確認数値 | | |
| 4-5市街地整備 | 02 周辺市街地の整備 | 暮らしやすい環境が形成されていると感じている市民の割合（№11共通） | 37.8% | R1 | 37.7% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 4-5市街地整備 | 03 新幹線を活用したまちづくりの取組 | 北海道新幹線札幌延伸後に新幹線を利用してみたいと答えた市民の割合 | 43.3% | R1 | 44.5% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 4-5市街地整備 | 市民アンケート指標 | 中心部のにぎわいや商業・サービス機能に満足している市民の割合 | 14.7% | R1 | 14.9% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 4-6交通 | 01 持続可能な交通ネットワークの構築 | バスの「運行頻度」・「運行間隔」における不満足の割合 | 49.2% | H30 | 48.8% | ― | 基準値より減 | R10 |
| 4-6交通 | 02 交通基盤・交通環境の整備・充実 | 市内を車で円滑かつ安全に移動できると感じている市民の割合 | 45.6% | R1 | 39.5% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 4-6交通 | 市民アンケート指標 | 地域公共交通に対して満足している市民の割合（№12共通） | 34.3% | R1 | 30.2% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 4-7防災・危機管理 | 01 防犯対策の推進 | 多数利用建築物の耐震化率 | 87% | H30 | 89% | 89% | 95% | R10 |
| 4-7防災・危機管理 | 02 災害応急活動体制や危機管理体制の強化 | 自主防災組織カバー率<br>（自主防災組織カバー率）＝（自主防災組織等地域世帯数）÷（本市世帯数）×100 | 22% | H30 | 22.3% | 22.9% | 60%(北海道が公表(H29)している全道平均以上) | R10 |
| 4-7防災・危機管理 | 市民アンケート指標 | 災害に強いまちづくりができていると感じている市民の割合 | 17.4% | R1 | 17.7% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 4-8消防 | 01 警防体制の整備 | 消防車両更新台数 | ― | H30 | 2台<br>（1台） | 4台<br>（2台） | 15台 | R1～10合計 |
| 4-8消防 | 02 火災予防の推進 | 住宅用火災警報器の設置率 | 72% | H30 | 76.0% | 74.0% | 83% | R10 |
| 4-8消防 | 03 救急救助体制の充実 | 救命講習会開始からの修了証発行者数 | 7,899人 | H30 | 8,690人 | 8,774人 | 12,000人 | R10 |
| 4-8消防 | 04 消防団の強化 | 消防団員の充足率 | 81% | H30 | 69% | 64% | 90% | R10 |
| 4-8消防 | 市民アンケート指標 | 消防体制（火災・救急・救助・予防）が整っていると感じている市民の割合 | 45.3% | R1 | 46.3% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 4-9生活安全 | 01 交通安全の推進 | 交通安全教室・講話回数 | 80回 | H30 | 36回 | 43回 | 90回 | R10 |
| 4-9生活安全 | 01 交通安全の推進 | 高齢者向け交通安全講話回数(上記内数) | 24回 | H30 | 3回 | 3回 | 30回 | R10 |
| 4-9生活安全 | 01 交通安全の推進 | 交通事故（人身事故）発生件数 | 235件 | H30 | 141件 | 161件 | 基準値より減 | R10 |
| 4-9生活安全 | 01 交通安全の推進 | 高齢者（65歳以上）の運転による人身事故発生件数（上記内数） | 69件 | H30 | 38件 | 60件 | 基準値より減 | R10 |
| 4-9生活安全 | 01 交通安全の推進 | 歩行者被害の発生状況 | 39人 | H30 | 35人 | 30人 | 基準値より減 | R10 |
| 4-9生活安全 | 01 交通安全の推進 | 高齢者(65歳以上)の歩行者被害の発生状況（上記内数） | 10人 | H30 | 17人 | 12人 | 基準値より減 | R10 |
| 4-9生活安全 | 02 防犯体制の推進 | 刑法犯認知件数 | 488件 | H30 | 312件 | 321件 | 基準値より減 | R10 |
| 4-9生活安全 | 02 防犯体制の推進 | 町会等が保有する街路防犯灯のLED灯への更新数 | 13,324灯 | H30 | 13,925灯 | 13,925灯 | 13,943灯 | R10 |
| 4-9生活安全 | 03 消費生活の安定と向上 | 消費者相談の件数 | 1,092件 | H30 | 917件 | 806件 | 800件 | R10 |
| 4-9生活安全 | 市民アンケート指標 | 交通事故や犯罪の対策が図られており、安全に安心して生活できていると感じている市民の割合 | 37.7% | R1 | 41.0% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 5-1環境保全 | 01 市民生活における環境保全対策の徹底 | 大気及び水質の環境基準値超過件数 | 0件 | H30 | 0件 | 0件 | 0件 | R10 |
| 5-1環境保全 | 02 地球温暖化防止対策の推進 | 地球温暖化防止の一環として、省エネルギー対策に取り組んでいる市民の割合 | 29.1% | R1 | 29.2% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 5-1環境保全 | 03 環境意識の高揚 | 清掃ボランティア参加数 | 10,724人 | H30 | 5,573人 | 7,048人 | 12,600人 | R10 |
| 5-1環境保全 | 04 人と自然の共生 | 環境緑地保護地区・自然景観保護地区・記念保護樹木・保存樹木・保全樹林の数 | 保護地区7か所<br>（北海道指定7） | H30 | 7か所 | 7か所 | 保護地区7か所<br>（北海道指定7） | R10 |
| | | | 樹木15か所<br>（北海道指定2）<br>（小樽市指定13） | H30 | 15か所<br>2<br>13 | 15か所<br>2<br>13 | 樹木15か所<br>（北海道指定2）<br>（小樽市指定13） | R10 |
| 5-1環境保全 | 市民アンケート指標 | 良好で快適な環境の保全が図られていると感じている市民の割合 | 27.7% | R1 | 27.2% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 5-2循環型社会 | 01 ３Ｒの推進に向けた自主的な取組への支援 | 市民一人1日当たりの生活系資源物排出量 | 142g/人・日 | H30 | 141g/人・日 | 142g/人・日 | 165g/人・日 | R10 |
| 5-2循環型社会 | 02 ごみ・資源物の適正処理 | 市民一人1日当たりの生活系ごみ排出量 | 470g/人・日 | H30 | 482g/人・日 | 478g/人・日 | 425g/人・日 | R10 |
| 5-2循環型社会 | 03 し尿などの適正処理 | 合併処理浄化槽設置数 | 116基 | H30 | 118基 | 117基 | 127基 | R10 |
| 5-2循環型社会 | 市民アンケート指標 | ごみの適正な排出や、３Ｒを心掛けている市民の割合 | 71.7% | R1 | 68.5% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 5-3公園・緑地 | 01 緑の保全 | 中心市街地の市道における、街路樹本数 | 287本 | R1 | 284本 | 284本 | 300本 | R10 |
| 5-3公園・緑地 | 02 公園・緑地の整備推進と維持管理の充実 | 市街地における、公園の整備や維持管理状況について、良くなったと感じる市民の割合 | 28.6% | R1 | 30.1% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 5-3公園・緑地 | 03 市民との協働による緑化の推進と支援 | 市民参加による、緑化関連等の活動イベント開催数 | 4回 | R1 | 2回 | 1回 | 6回 | R10 |
| 5-3公園・緑地 | 市民アンケート指標 | 公園やまちなかの緑に満足している市民の割合 | 43.1% | R1 | 46.0% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 5-4都市景観 | 01 歴史的建造物の保全及び活用 | 指定歴史的建造物の指定件数 | 79件 | H30 | 79件 | 79件 | 79件 | R10 |
| 5-4都市景観 | 02 まちなみ景観の創出<br>（兼 市民アンケート指標） | 小樽のまちなみに愛着を持っている市民の割合 | 76.0% | R1 | 78.3% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 5-4都市景観 | 03 自然景観等の保全 | 小樽の海や山などの自然景観に愛着を持っている市民の割合 | 80.8% | R1 | 84.4% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 5-4都市景観 | 04 市民との協働による景観形成 | 歴史的建造物めぐり等の啓発事業への応募件数 | 165件 | H29 | 48件 | 59件 | 180件 | R10 |

| 施策 | 小施策 | 指標 | 基準値 | | 実績値 | | 目標値 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 前回確認数値 | 今回確認数値 | | |
| 6-1社会教育 | 01 「学び」と「活動」の循環の推進 | 地域のボランティアと連携して実施する教育支援活動推進事業の回数 | 2,245回 | H30 | 1,652回 | 1,321回 | 2,600回 | R10 |
| 6-1社会教育 | 02 生涯各期における学習機会の充実 | 「市民大学講座、はつらつ講座、やんぐすくーる、生活講座、老壮大学」の人口に対する参加者の割合 | 2.0% | H30 | 0.5% | 0.6% | 2.2% | R10 |
| 6-1社会教育 | 03 図書館の利活用の促進 | 市民一人当たりの貸出冊数 | 2.89冊 | H30 | 2.21冊 | 2.27冊 | 3.20冊 | R10 |
| 6-1社会教育 | 04 総合博物館の利活用の促進 | 入館者数（本館・運河館） | 120,237人 | H30 | 58,390人 | 63,343人 | 140,000人 | R10 |
| 6-1社会教育 | 05 文学館・美術館の利活用の促進 | 入館者数（文学館） | 9,138人 | H30 | 5,492人 | 6,968人 | 11,000人 | R10 |
| 6-1社会教育 | 05 文学館・美術館の利活用の促進 | 入館者数（美術館） | 11,524人 | H30 | 5,599人 | 8,726人 | 13,000人 | R10 |
| 6-1社会教育 | 市民アンケート指標 | 生涯学習に興味のある市民の割合 | 48.0% | R1 | 47.5% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 6-2文化芸術 | 01 文化芸術の振興 | 小樽市文化祭の人口に対する参加者の割合 | 10% | H30 | 2.5% | 2.9% | 12% | R10 |
| 6-2文化芸術 | 02 文化財などの保存と活用 | 文化財保存団体数 | 4団体 | H30 | 4団体 | 4団体 | 4団体 | R10 |
| 6-2文化芸術 | 市民アンケート指標 | 文化芸術の鑑賞や体験活動に参加したことのある市民の割合 | 35.7% | R1 | 36.8% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 6-3ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ | 01 生涯スポーツ・レクリエーション活動の普及と市民体力の向上（兼 02 スポーツ団体との連携と競技力の向上） | 成人の週1回以上のスポーツ実施率 | 24.2% | R1 | 36.9% | ― | 65.0% | R10 |
| 6-3ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ | 03 体育施設の整備と利用促進 | 主な体育施設３施設（総合体育館、高島小学校温水プール、銭函パークゴルフ場）を利用する延べ利用者の人口に対する割合 | 117.0% | H30 | 70.5% | 64.6% | 122.0% | R10 |
| 6-3ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ | 市民アンケート指標 | 気軽にスポーツ・レクリエーションに親しんでいる市民の割合 | 23.1% | R1 | 34.7% | ― | 基準値より増 | R10 |
| 6-4国際交流 | 01 姉妹都市等との交流 | ホストファミリーと通訳ボランティアの登録者数 | ホストファミリー54世帯 | H30 | 55世帯 | 55世帯 | ホストファミリー60世帯 | R10 |
| | | | 通訳ボランティア70人 | H30 | 73人 | 74人 | 通訳ボランティア100人 | R10 |
| 6-4国際交流 | 02 外国人が暮らしやすい環境づくり | 在住外国人の日本語教室受講者数 | 17人 | H30 | 16人 | 16人 | 30人 | R10 |
| 6-4国際交流 | 市民アンケート指標 | 国際交流に関心がある市民の割合 | 29.3% | R1 | 29.3% | ― | 基準値より増 | R10 |

※既に公表済みである実績値（前回確認数値）のうち、３つに誤りがありましたので訂正しています。
①施策「2-4保健衛生」の「食品関連施設監視率」 87%⇒102%
②施策「4-1上下水道」の「下水道使用料の収納率」 99.5%⇒99.4%
③施策「5-2循環型社会」の「市民一人1日当たりの生活系資源物排出量」 142g/人・日⇒141g/人・日

※数値減少を目標とする指標については、「目標値」の欄を網掛けにしています。

※目標値が「R1～10平均」又は「R1～10合計」となっている指標の実績値については、令和元年度以降の平均値又は合計値を記載しています（当該年度の単年度実績は下段にかっこ書きで記載）。